

2021年3月期 第1四半期決算説明資料

第97期：第1四半期累計期間
(2020年4月1日～2020年6月30日)

2020年7月29日



太平洋工業株式会社

本資料取り扱い上の注意点

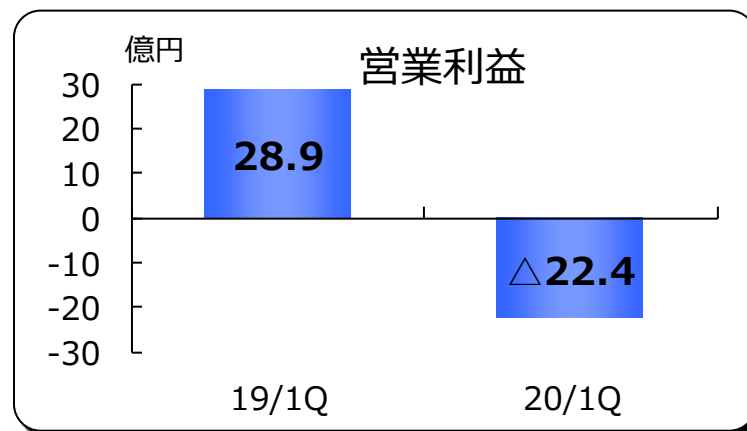
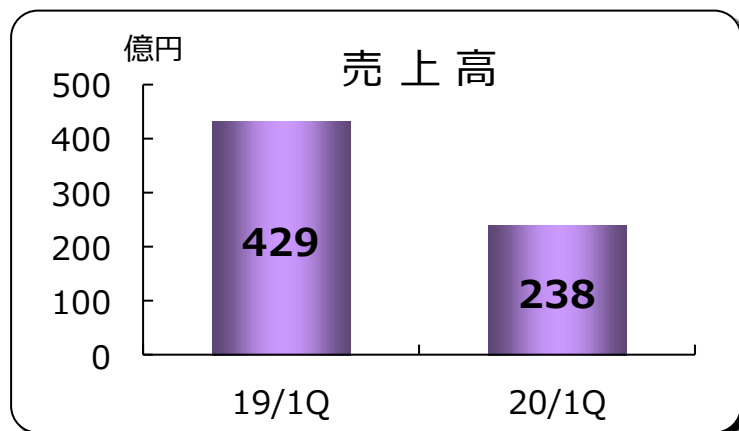
本資料に含まれる将来の見通しに関する記述は、現時点における情報に基づき判断したものであり、日本および海外の経済情勢や当社の関連する業界動向、為替変動等にかかわるリスクや不確定要因により実際の業績が記載の予想と大幅に異なる可能性があります。

1-1 第1Q 連結業績

コロナ影響により、売上高は減収、各利益は赤字

(百万円、%)

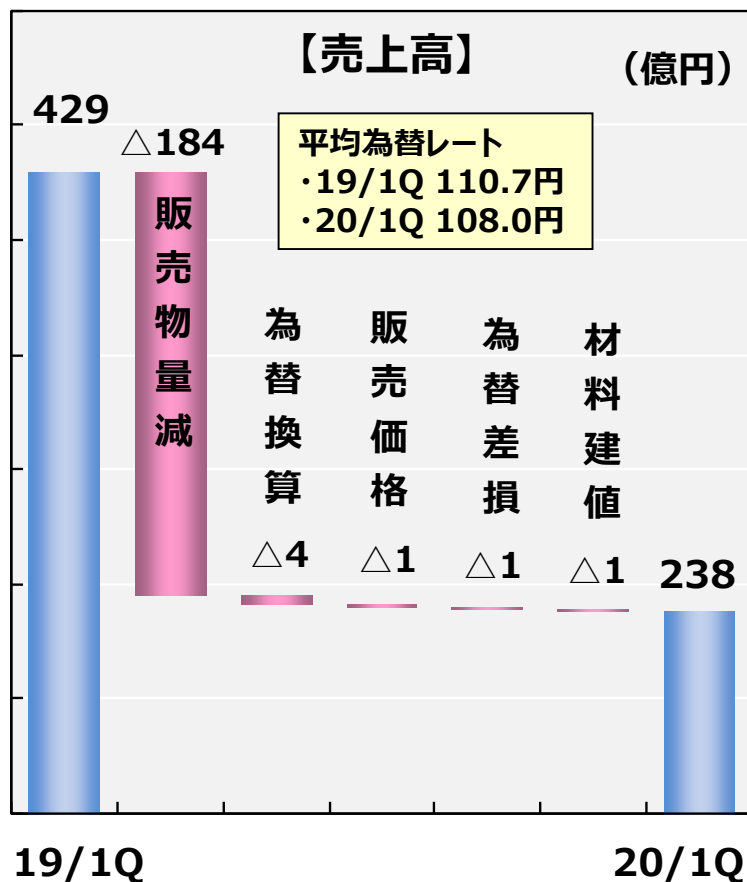
	前第1四半期	当第1四半期	前年同期比		
			増減	増減率	
売上高	42,924	23,838	△19,086	△44.5%	4期振りの減収
営業利益 (△は損失)	2,891 6.7%	△2,249 △9.4%	△5,140	—	赤字 (3期振りの減益)
経常利益 (△は損失)	2,964 6.9%	△1,784 △7.5%	△4,749	—	赤字 (4期振りの減益)
四半期純利益 (△は損失)	2,113 4.9%	△1,299 △5.5%	△3,413	—	赤字 (4期振りの減益)



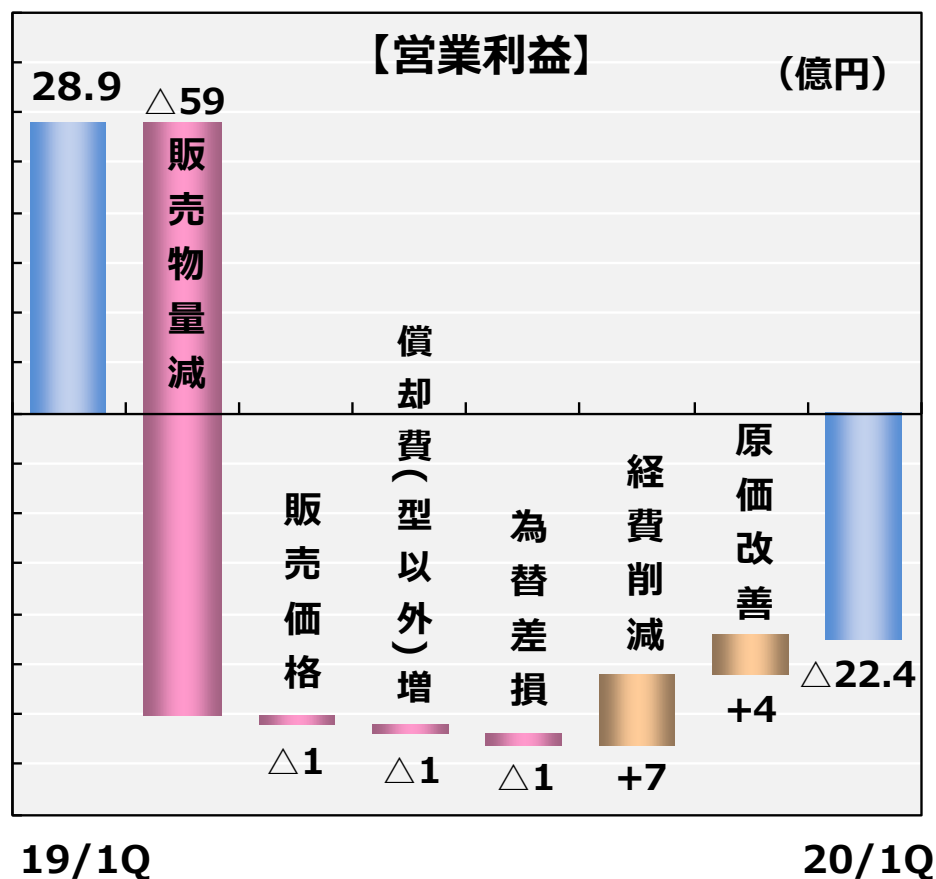
1-2 第1Q 連結売上高・営業利益 増減要因

コロナ影響により販売物量が大幅減

«20年度1Q 対 19年度1Q»
売上高▲190億円

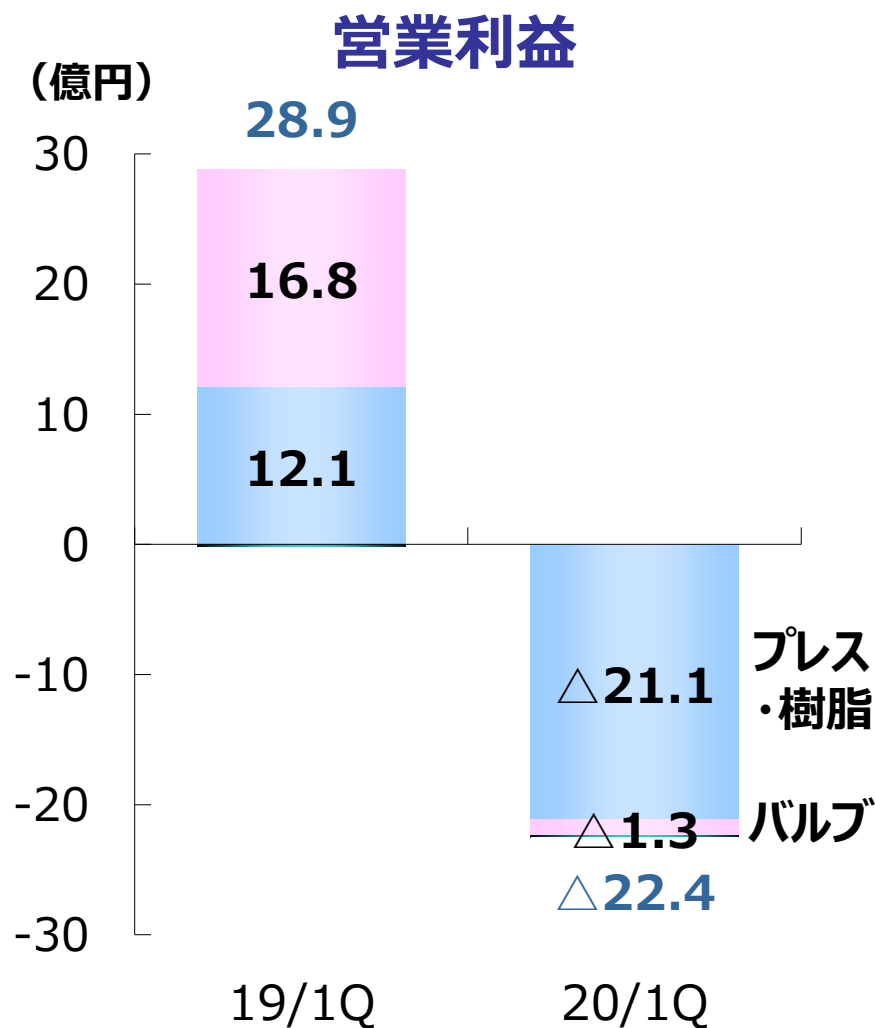
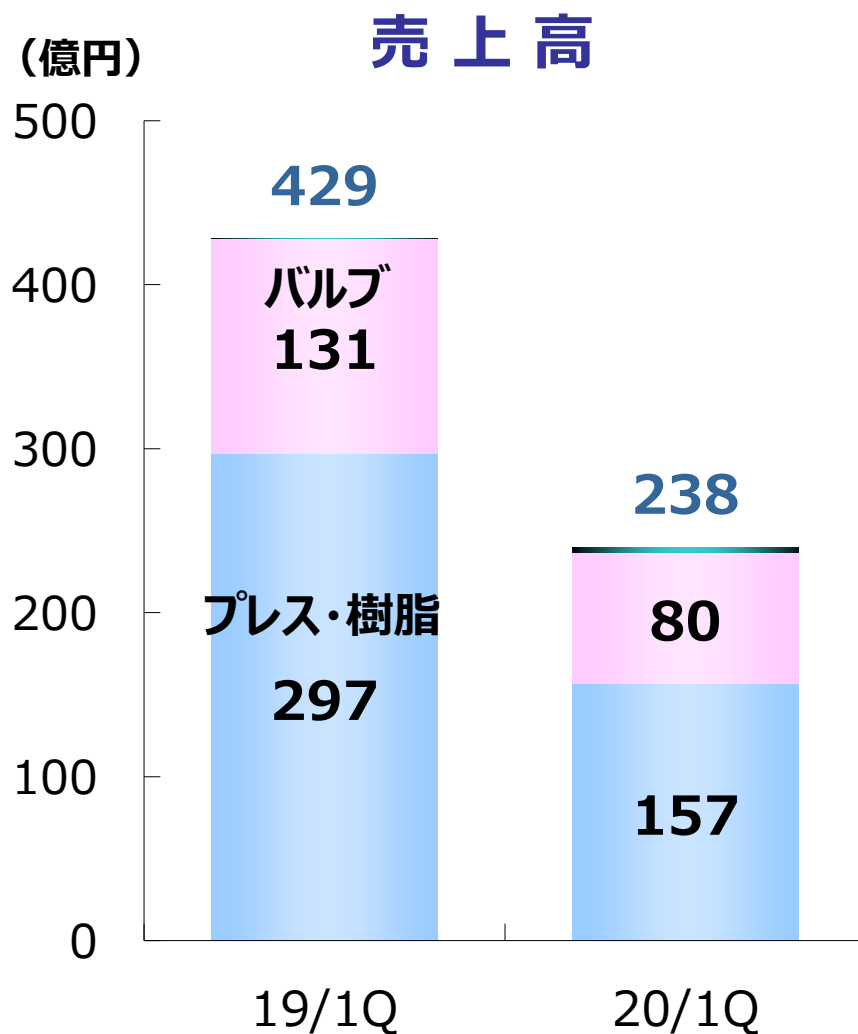


«20年度1Q 対 19年度1Q»
営業利益▲51億円



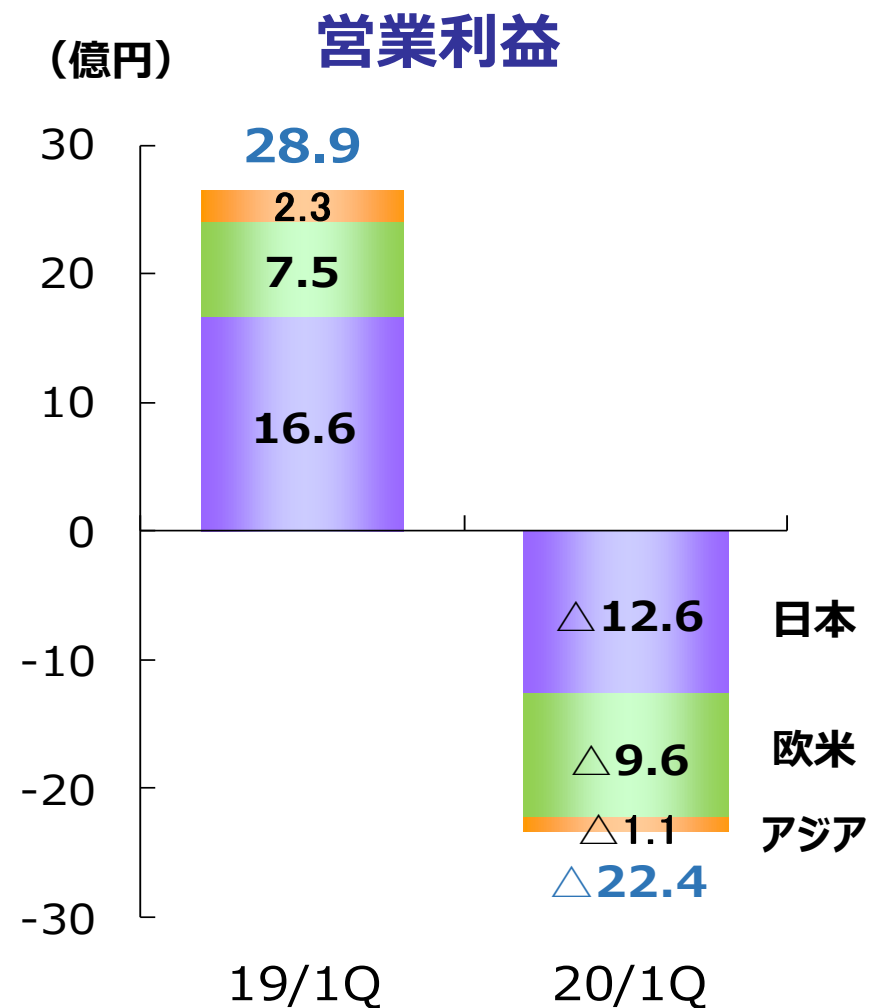
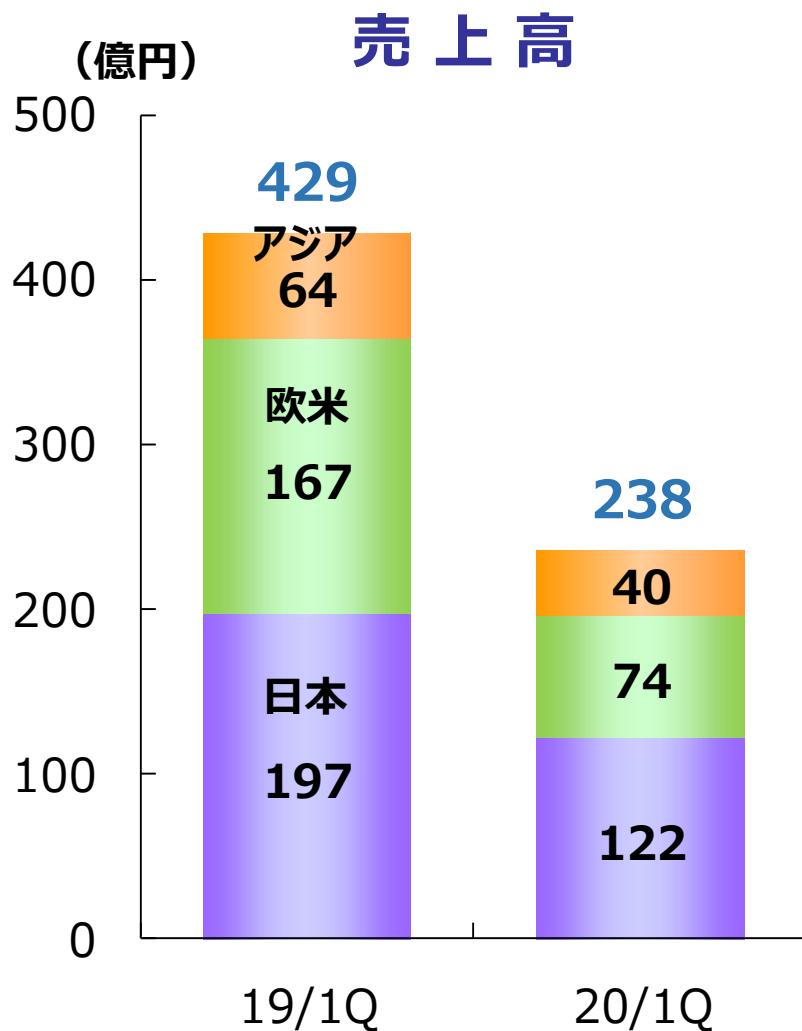
1-3 第1Q 連結事業別セグメント

プレス・樹脂事業、バルブ事業ともに減収・赤字



1-4 第1Q 連結地域別セグメント

日本、欧米、アジアともに減収・赤字



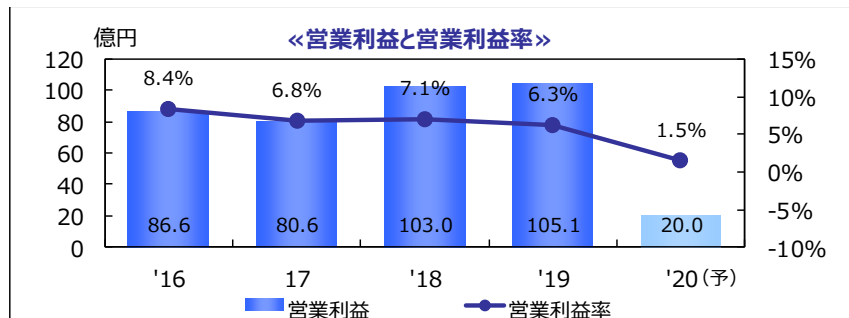
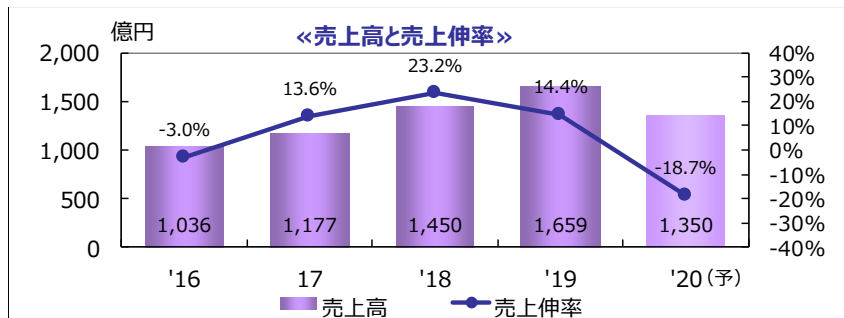
2-1 上期・通期 連結業績予想

上期赤字となるも、通期で黒字化を予想

(百万円、%)

	19年度		20年度					
	上期実績	通期実績	上期予想	前年同期比		通期予想	前期比	
				増減	増減率		増減	増減率
売上高	過去最高 82,765	過去最高 165,969	58,500	△24,265	△29.3%	135,000	△30,969	△18.7%
営業利益	過去最高 4,683	過去最高 10,511	△1,600	△6,283	—	2,000	△8,511	△81.0%
経常利益	4,935	11,130	△1,000	△5,935	—	3,000	△8,130	△73.0%
※1 当期純利益	3,473	7,256	△1,000	△4,473	—	2,000	△5,256	△72.4%
売上高営業利益率	5.7%	6.3%	△2.7%	△8.4%	/	1.5%	△4.8%	/
ROE	7.2%	7.5%	△2.1%	△9.3%		2.0%	△5.5%	
ROA (営業利益ベース)	4.6%	5.2%	△1.6%	△6.2%		1.0%	△4.2%	
一株当り純資産 (円)	1,603	1,614	1,582	△20	△1.3%	1,622	8	0.5%

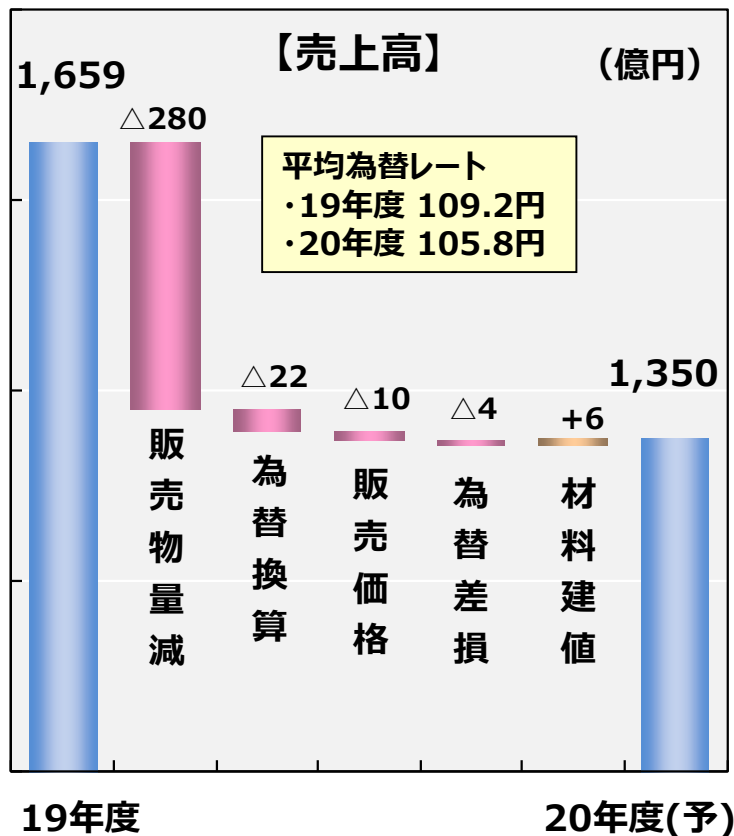
※1「当期純利益」は、正式名称である「親会社株主に帰属する(四半期)当期純利益」を短縮して表示しております。



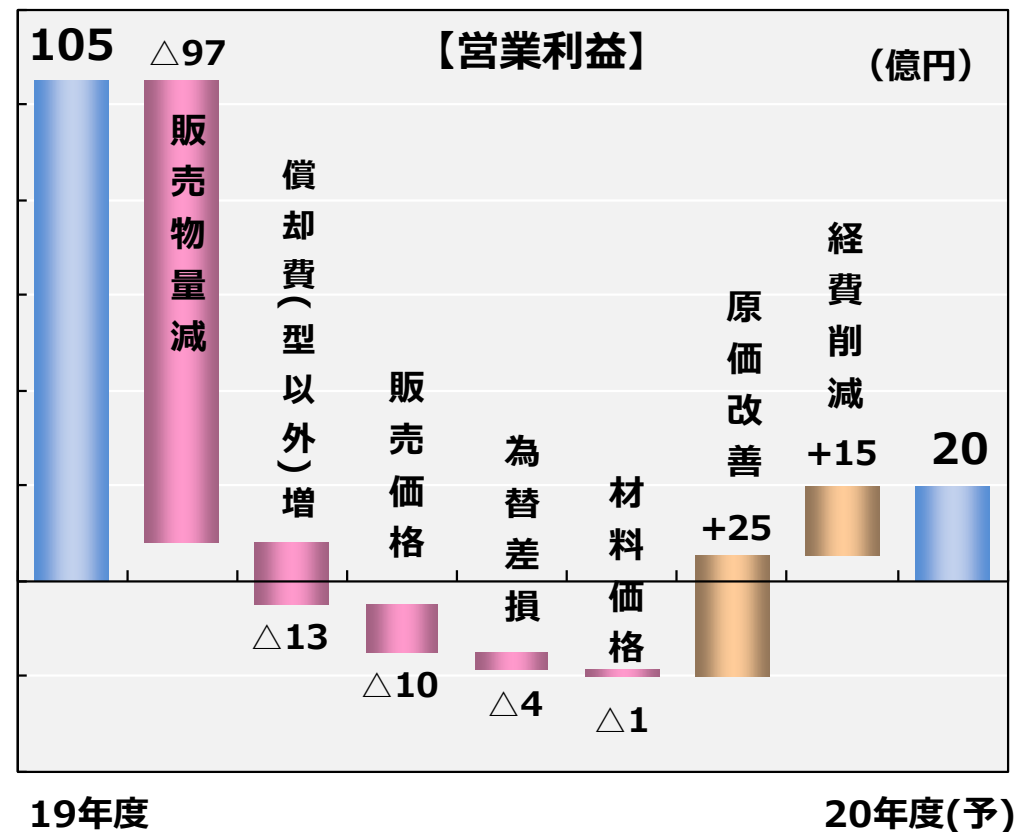
2-2 通期 連結売上高・営業利益 増減要因

販売物量が大幅減なるも、改善努力で黒字確保

«20年度予想 対 19年度»
売上高▲309億円

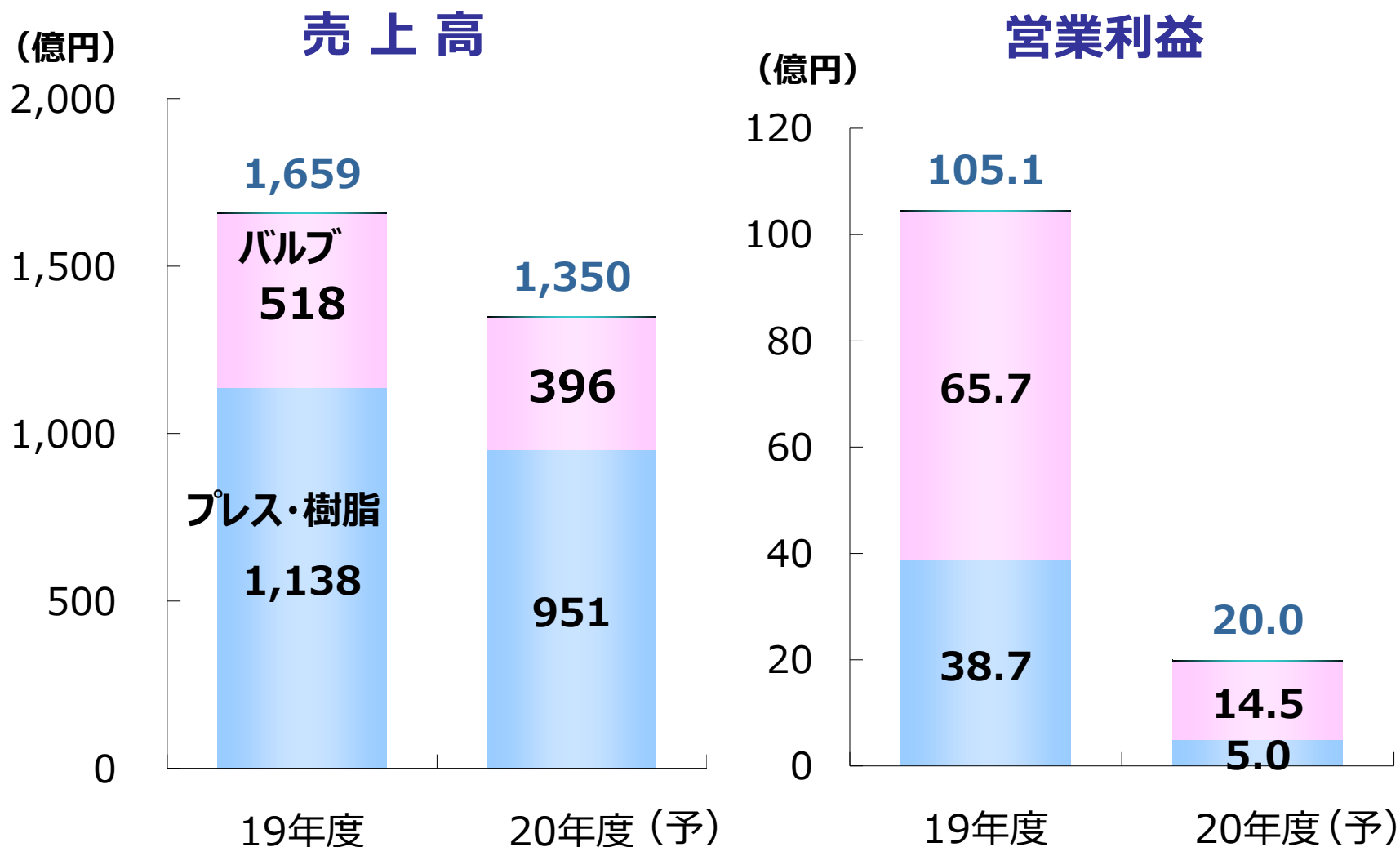


«20年度予想 対 19年度»
営業利益▲85億円



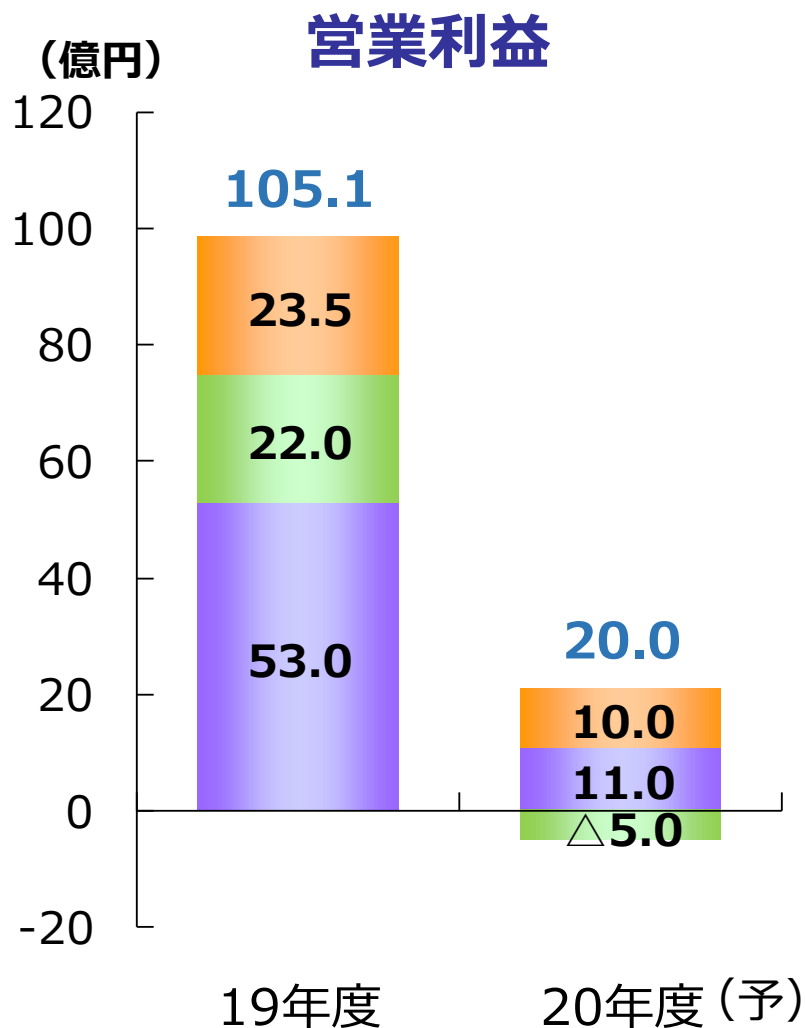
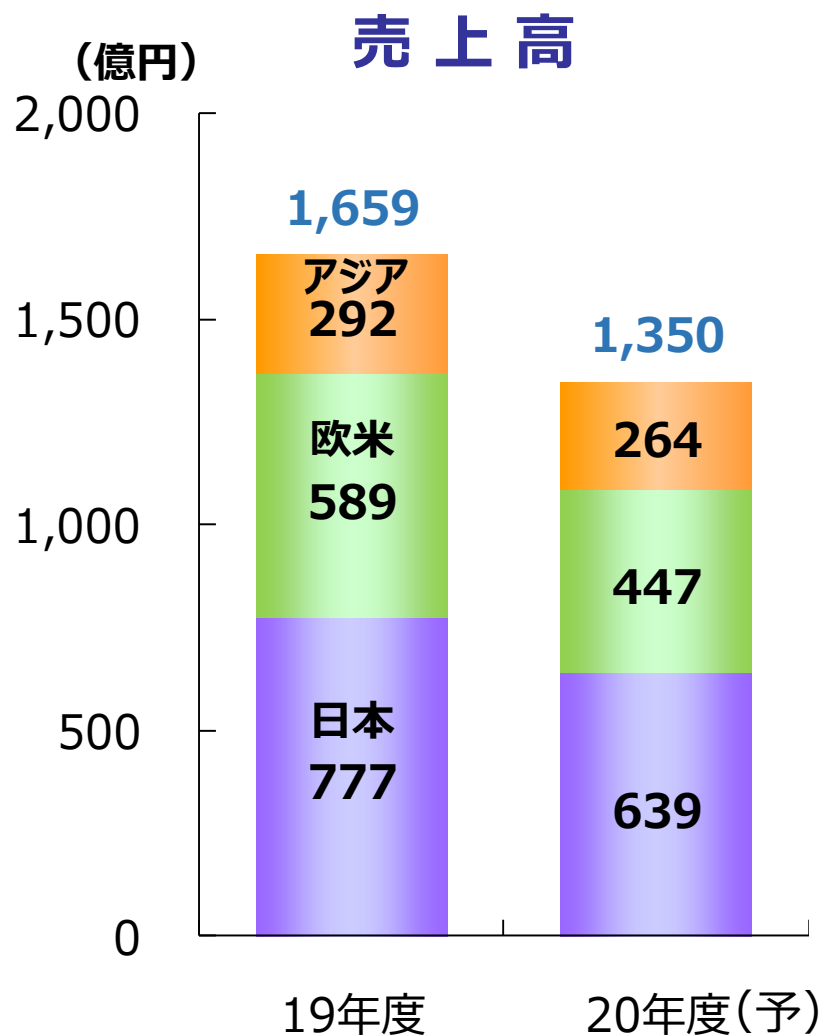
2-3 通期 連結事業別セグメント

両事業ともに減収減益なるも、黒字見込み



2-4 通期 連結地域別セグメント

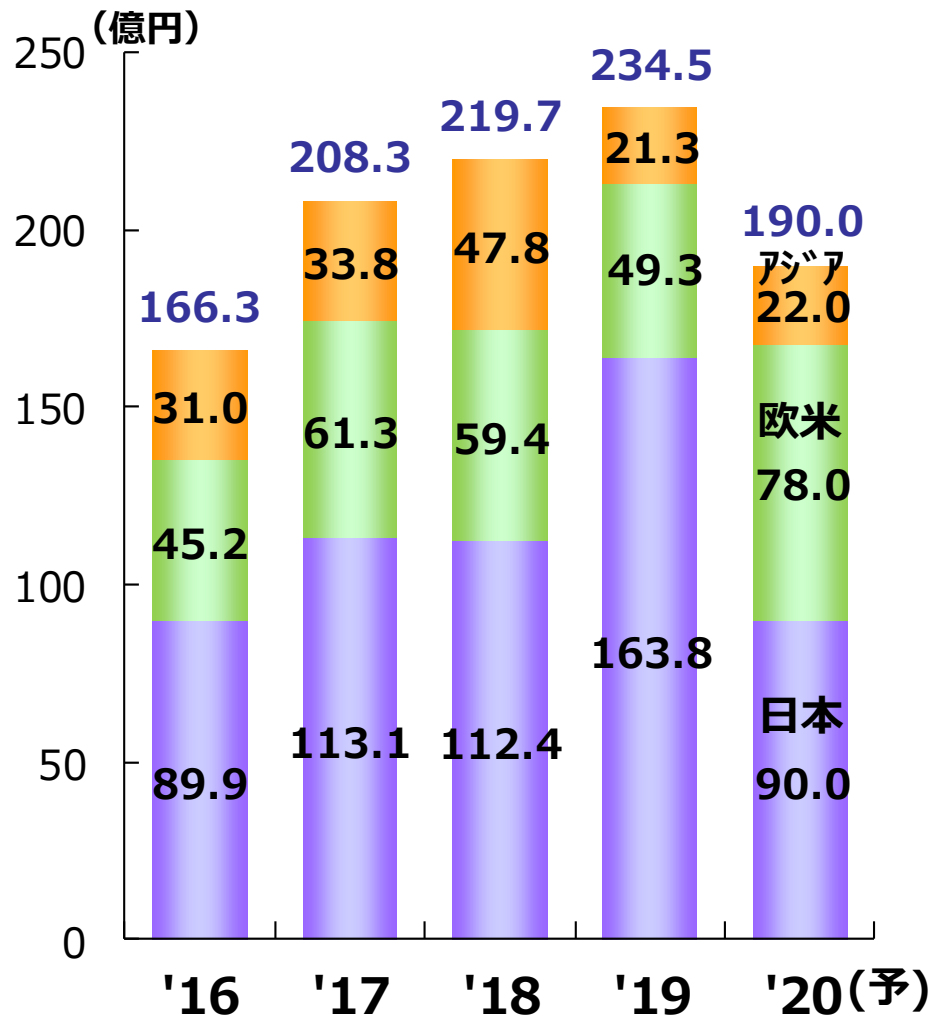
日本・欧米・アジアともに減収減益見込み



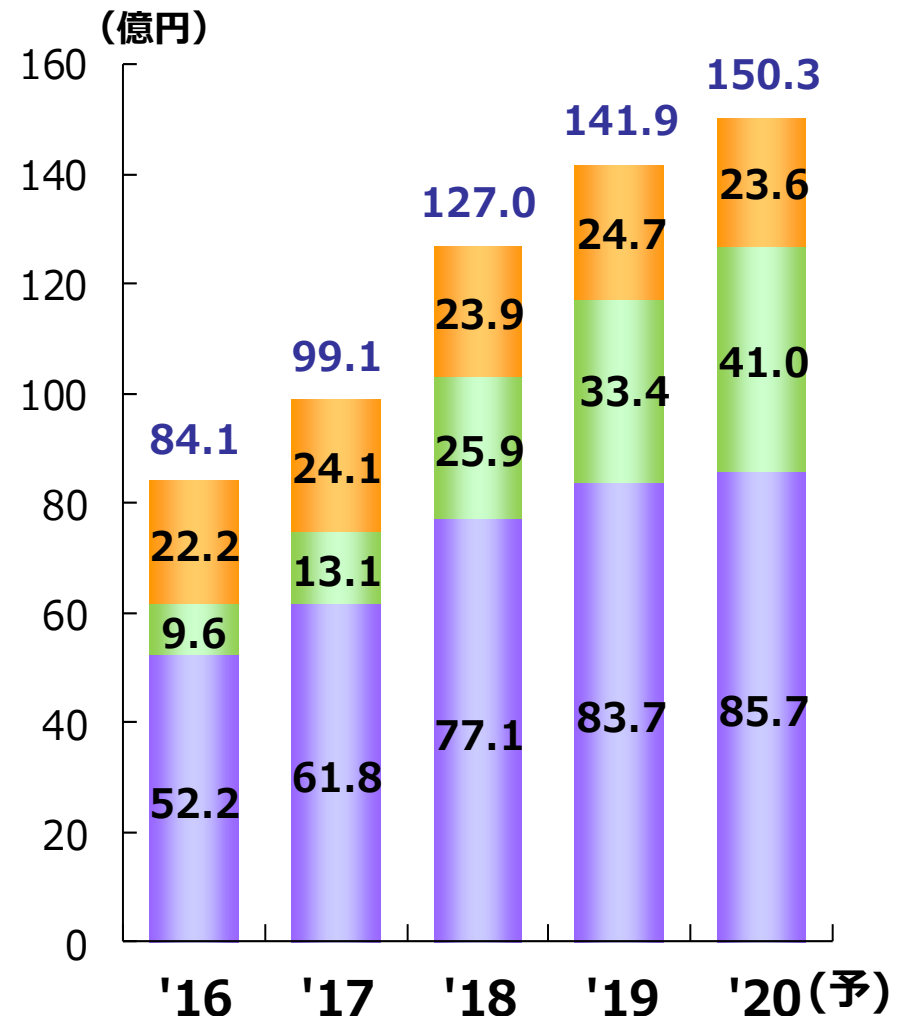
2-5 連結設備投資・減価償却費

設備投資は厳選して実施

＜＜設備投資＞＞

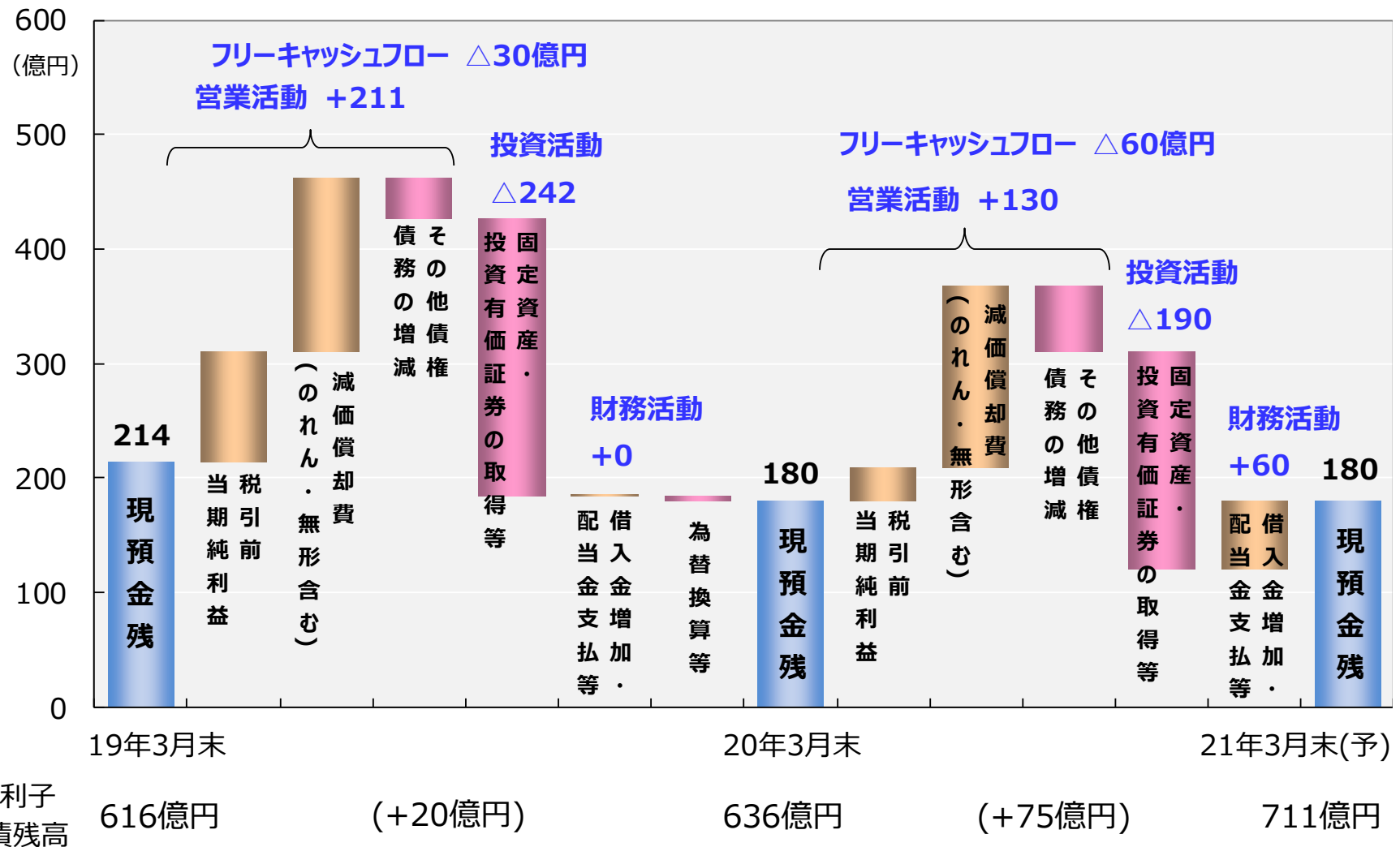


＜＜減価償却費＞＞



2-6 連結キャッシュフロー

グループ全体での資金マネジメント強化

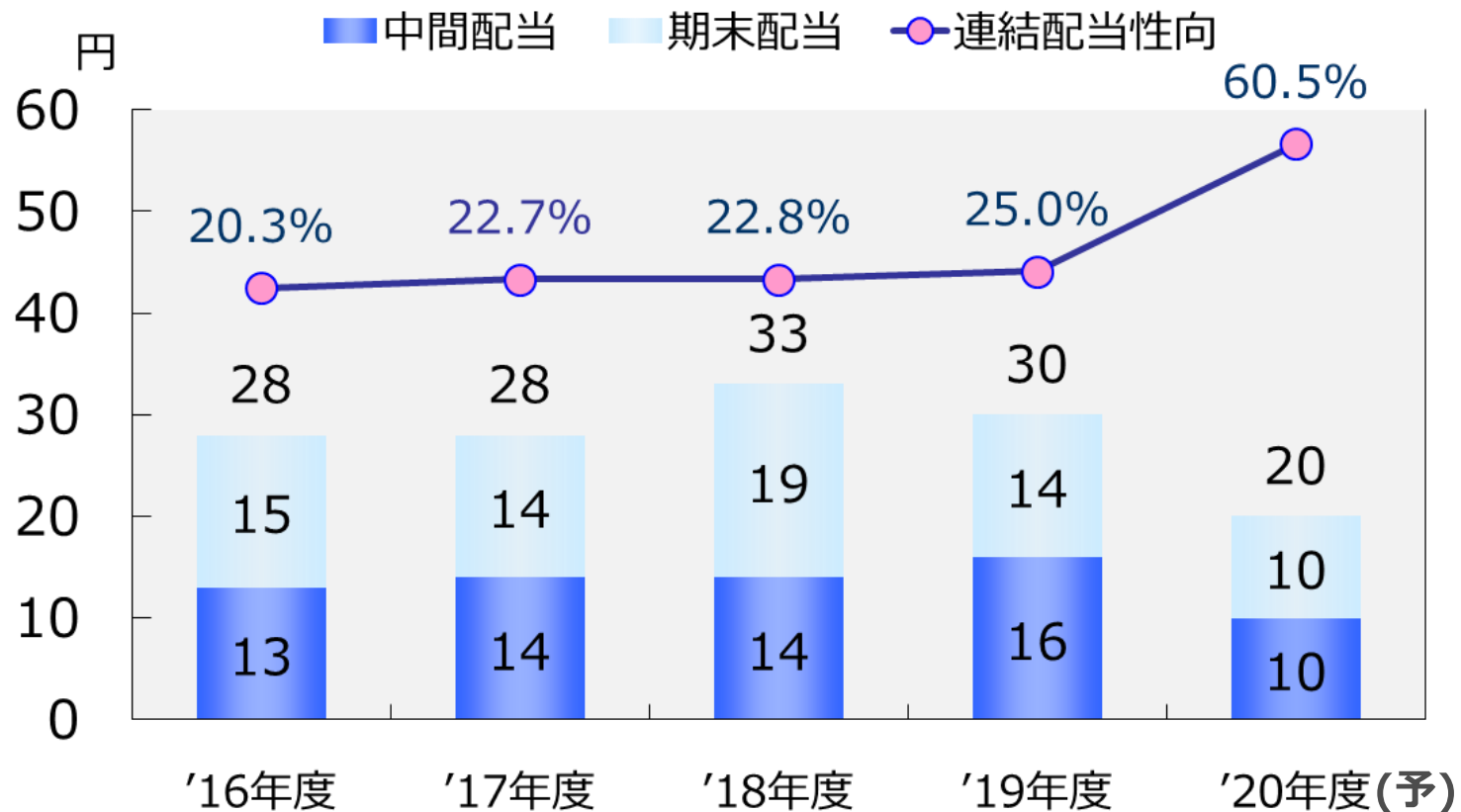


2-7 株主還元

年間配当20円を予定

■ 年間配当

2020年度予定 年間：20円（中間：10円 期末：10円）



2-8 今後の取り組み

コロナ禍経験を学びとした次への成長

■ 新型コロナウイルス影響からの学び

- ・顧客の生産変動に追従し、生産体制維持
- ・働き方、仕事のやり方を変革
- ・判断のスピードアップと優先順位づけ

■ 将来の成長を見据えた取組み

- ・既存事業の拡充とコア技術を活かした拡販
- ・新技術・新材料・新工法開発の加速
- ・サステナビリティ経営（SDGs推進）



思いをこめて、あしたをつくる

Passion in Creating Tomorrow